

《 卒業生は今 》

－ 漁業に就職して感じたこと －

漁業高等学園では、昭和45年の設立以来、昨年度までの卒業生は902名に達し、様々な漁業で活躍しています。そこで、卒業生が、今、どんな漁業に携わっているのか、就業してどんな感想を持ったかなど、紹介します。

No.35 0くん (平成29年3月卒・航海専攻・現19歳) キンメダイ底立て延縄漁船

Q. 仕事の内容は？

- * 漁労中は甲板作業（餌付け、投縄、揚げ縄、漁具作り）を行う。
- * 帰港する時は、ブリッジで当直を2時間行う。
- * 入港すれば、水揚げ作業を行う。

Q. 大変なことは？

- * 投縄のために夜中に起きるのが大変である。
- * 軍手をして作業をするので、手がふやけて皮膚がボロボロになる。

Q. 良いこと、楽しいことは？

- * 操業が終り、帰港する時は楽しい。
- * 他の船員との会話が楽しい。

Q. 学園在学中の思い出は？

- * 乗船実習で沖縄に寄港したのが思い出に残っている。

Q. 学園で学んだ（身に付けた）ことで、現場で役立っていることは？

- * ロープワーク全般が役立っている。
- * 学園で基礎的な事を学んでいたため、船のやり方を早く覚えることができる。

☆. 在校生へのアドバイス

- * すばやく行動できる人は好かれる。
- * 気が利く人。

(平成29年9月1日)